

2015年3月2日

各位

小野薬品工業株式会社

カイトロリス<sup>®</sup>（カルフィルゾミブ）について  
再発性多発性骨髄腫患者を対象としたベルケイド<sup>®</sup>（ボルテゾミブ）を対照薬とした  
第Ⅲ相臨床試験において主要評価項目（無増悪生存期間）を達成

Amgen（以下、アムジェン社）および子会社である Onyx Pharmaceuticals, Inc.,（以下、オニキス社）は、2015年3月1日（米国現地時間）、第Ⅲ相臨床試験（ENDEAVOR 試験）において主要評価項目（無増悪生存期間）を達成したという中間解析結果を発表しました。Kyprolis<sup>®</sup>（カルフィルゾミブ）静脈注射と低用量 dexamethasone の治療を受けた患者群において主要評価項目である無増悪生存期間が有意に延長し、Velcade<sup>®</sup>（ボルテゾミブ）と低用量 dexamethasone の治療を受けた患者群に対して優越性を示しました。

次頁以降にアムジェン社およびオニキス社が発表したプレスリリース資料（和訳版）を添付していますので、ご参照ください。

国内では2010年9月に当社とオニキス社が締結したライセンス契約\*に基づき、多発性骨髄腫患者を対象としたカルフィルゾミブ（ONO-7057）の臨床試験を実施中です。海外では、米国オニキス社が既存治療無効の（ボルテゾミブおよび免疫調整薬を含む2回以上の前治療歴を有し、直近の治療期間中または治療後60日以内に疾患進行を示した）多発性骨髄腫患者の治療を適応として、米国で2012年7月に迅速承認を取得しています。

\*当社は、現在アムジェン社およびオニキス社が全世界で開発中の二つのプロテアソーム阻害剤（カルフィルゾミブ／注射剤と oprozomib／経口剤）について、全がん腫を対象に日本で独占的に開発・商業化する権利を取得しています。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

小野薬品工業株式会社 広報部

TEL : 06-6263-5670

FAX : 06-6263-2950

以下の資料は Amgen 社が 2015 年 3 月 1 日(米国現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳したものであり、この資料の内容および解釈については同社の英語原文が優先されます。



## ニュースリリース

### 再発の多発性骨髄腫患者を対象とした ENDEAVOR 試験において KYPROLIS® (CARFILZOMIB) の VELCADE® (BORTEZOMIB) に対する 優越性が示される

#### ENDEAVOR 試験において主要評価項目（無増悪生存期間）を達成

#### Kyprolis 投与群で無増悪生存期間を 2 倍延長させる

Amgen (NASDAQ: AMGN、以下アムジェン社) およびその子会社である Onyx Pharmaceuticals, Inc. (以下オニクス社) は、2015 年 3 月 1 日 (米国現地時間)、Kyprolis® (carfilzomib) 静脈注射および低用量 dexamethasone 併用群と Velcade® (bortezomib) および低用量 dexamethasone 併用群とを比較する第 III 相試験 [ENDEAVOR 試験 (RandomizEd, OpeNLabel, Phase 3 Study of Carfilzomib Plus DEexamethAsone Versus Bortezomib Plus DexamethasOne in Patients With Relapsed Multiple Myeloma)] の予定されていた中間解析において、主要評価項目である無増悪生存期間 (PFS) を達成したことを発表しました。Kyprolis® (carfilzomib) 静脈注射と低用量の dexamethasone の併用療法を受けた再発の多発性骨髄腫患者群において無増悪生存期間を 2 倍延長し、Velcade および低用量 dexamethasone 併用療法に対する統計的および臨床的な優越性が示されました (無増悪期間中央値; Kyprolis 群 18.7 カ月、Velcade 群 9.4 カ月、HR=0.53、95%CI ; 0.44-0.65)。

Kyprolis 併用群において、副次評価項目である全奏効率が Velcade 併用群と比較して有意に高く、神経障害関連事象の発現は低い結果でした。全生存期間は現時点では未達であり、評価継続中です。

有害事象に伴う治療中止および治験期間中の死亡は両群間で差は認められませんでした。Kyprolis 投与に伴う心不全および腎不全の発現頻度は、第 III 相試験 (ASPIRE 試験) と同程度でした。本試験では、Kyprolis 併用群において心不全および腎不全の発現頻度が Velcade 併用群と比較して高い結果となりました。また、ASPIRE 試験と同様、Kyprolis 併用時に高血圧および呼吸困難が認められ、Velcade 併用群と比較して高い結果となりました。

今回の成績は、2015 年の米国臨床腫瘍学会年次集会に提出する予定です。

アムジェン社の会長兼最高経営責任者である Robert A. Bradway 氏は、「ENDEAVOR 試験や ASPIRE 試験の結果、加えて再発の多発性骨髄腫患者さんに対する素晴らしい効果に興奮しています」と述べています。

オニキス社社長の Pablo J. Cagnoni 氏は、「再発の多発性骨髄腫の新たな治療オプションが利用可能となるにつれ、医師の方に十分な情報に基づいた最適な治療法を選択していただけるよう、ENDEAVOR 試験のような比較対照試験の重要性がますます高まっています。今回の直接比較試験で Velcade に対する優越性が示されたことは、患者さんに対する効果の持続的な改善を確実にし、Kyprolis を多発性骨髄腫治療の主力とする可能性を確立する我々の目標達成に繋がると考えています」と述べています。

ENDEAVOR 試験は、Kyprolis を多発性骨髄腫治療用の既承認のプロテアソーム阻害剤である Velcade と直接比較した最初の試験です。

### ENDEAVOR 試験について

929名の患者を対象とした ENDEAVOR 無作為化試験 (Randomized, Open-Label, Phase 3 Study of Carfilzomib Plus Dexamethasone Vs Bortezomib Plus Dexamethasone in Patients With Relapsed Multiple Myeloma) は、1~3 回の前治療レジメンを受けた後に再発した多発性骨髄腫患者において、Kyprolis と低用量 dexamethasone との併用療法を Velcade と低用量 dexamethasone との併用療法を対照に評価しました。本試験の主要評価項目は PFS であり、治療開始から病勢進行または死亡までの期間と規定しました。

Kyprolis と低用量 dexamethasone (20 mg) との併用療法を受けた患者では Kyprolis を 30 分かけて静脈内投与しました。1 サイクル目のみ、1 日目と 2 日目に Kyprolis を 20 mg/m<sup>2</sup> 投与し、8、9、15 および 16 日目に 56 mg/m<sup>2</sup> に増量しました。サイクル 1 で 56 mg/m<sup>2</sup> が忍容であった患者に以降の 28 日間のサイクルの 1、2、8、9、15 および 16 日目に同用量で継続して投与しました。Velcade (1.3 mg/m<sup>2</sup>) と低用量 dexamethasone (20 mg) との併用療法を受けた患者には、治験責任医師の裁量と Velcade の薬事承認にしたがって Velcade を皮下投与または静脈内投与しました。Velcade 群に割り付けられた 75% 超の患者が Velcade の皮下投与を受けていました。本試験は全世界の 235 施設で実施しました。試験に関する詳細な情報は、[www.clinicaltrials.gov](http://www.clinicaltrials.gov) の試験 ID 番号：NCT01568866 をご参照ください。

### 多発性骨髄腫について

多発性骨髄腫は血液がんの中で 2 番目に多く、一般的に骨髄の中にある形質細胞の異常により引き起こされます。全世界では 23 万人近い方が多発性骨髄腫患者であり<sup>1</sup>、2012 年には約 11 万 4 千人が新たに多発性骨髄腫と診断され、8 万人が亡くなっています<sup>2</sup>。米国の多発性骨髄腫患者は約 8 万 3 千人で、2013 年には 2 万 2 千人が新たに多発性骨髄腫と診断され、1 万人以上の患者が亡くなっています<sup>3</sup>。欧州の多発性骨髄腫患者は約 8 万 9 千人で<sup>1</sup>、2012 年には約 4 万 2 千人が新たに多発性骨髄腫と診断され、2 万 6 千人が亡くなっています<sup>1, 2</sup>。

### **Kyprolis® (carfilzomib) 静脈注射について**

2012年7月20日、FDAはbortezomibおよび免疫調節薬 (IMiD) を含む2回以上の前治療歴があり直近の治療期間中または治療後60日以内に疾患が進行した多発性骨髄腫患者の治療薬としてKyprolisを迅速承認しました。この承認は奏効率に基づくもので、生存率の改善または症状の改善といった臨床的ベネフィットは明らかになっていません。Kyprolisは2分～10分かけて静脈内投与します。1サイクル目では20 mg/m<sup>2</sup>/日の推奨用量を3週間、各週連続2日間(1、2、8、9、15および16日目)投与し、その後12日間(17～28日目)休薬します。忍容であれば2サイクル目以降は27 mg/m<sup>2</sup>/日に増量します。

Kyprolisはアルゼンチン、イスラエルおよびメキシコでも承認されています。

Kyprolisはアムジェン社の子会社であるオニクス社により、米国で販売されています。

Kyprolisはオニクス社の製品です。オニクス社はアムジェン社の子会社であり、日本を除く全世界でKyprolisを開発および販売する権利を取得しています。Kyprolisについての詳細は<http://www.kyprolis.com>をご覧ください。

### **Kyprolis® (carfilzomib) 静脈注射の重要な安全性情報について**

Kyprolisの単剤投与を受けた再発および/または難治性の多発性骨髄腫患者526名において、安全性データを評価しました。第II相試験において37名(全患者の7%)で死亡が認められました。疾患の進行以外で最も多かった死亡の原因は、心疾患(5名)、末端臓器不全(4名)および感染症(4名)でした。重要な警告および使用上の注意には、心停止、うっ血性心不全、心筋虚血、肺高血圧症、肺合併症、注入に伴う反応、腫瘍崩壊症候群、血小板減少症、肝毒性、および胎児毒性が含まれます。

Kyprolisの投与後1日以内に、心停止による死亡が発生しました。New York Heart Association心機能分類IIIおよびIVの心不全、過去6ヶ月以内の心筋梗塞および治療によるコントロールができない心伝導異常があった患者は、心合併症の高いリスクにさらされる可能性があるため、臨床試験への参加を不適格としました。

Kyprolisの治療を受けた患者の2%で肺動脈性肺高血圧症(PAH)の報告があり、患者の1%未満でGrade3以上でした。試験に参加した患者の35%で呼吸困難の報告があり、内訳はGrade3が全患者の5%、Grade4が0件、Grade5(死亡)が1件でした。

注入に伴う反応は、一連の全身症状(発熱、悪寒、関節痛、筋痛、顔面の紅潮、顔面の浮腫、嘔吐、疲労、息切れ、低血圧、失神、胸部絞扼感および狭心症)を特徴としており、Kyprolisの投与直後または24時間以内に起こる可能性があります。反応の発現と程度を抑えるため、Kyprolisの投与前にdexamethasoneを投与します。Kyprolis投与後、1%未満の患者で腫瘍崩壊症候群(TLS)が発現しました。腫瘍量の多い多発性骨髄腫患者は、TLSのリスクが高いことに注意が必要です。

Kyprolis の投与後に血小板減少症が発現したため患者の 1%で投与量を減量、および 1%未満で Kyprolis の投与を中止しました。

死亡に至った事象を含む肝不全が 1%未満の患者で報告されました。Kyprolis の投与後、血清トランスアミラーゼおよびビリルビン上昇が起こる場合があります。

妊婦において、適切かつよく管理された Kyprolis の試験は実施されていません。妊娠の可能性のある女性は、Kyprolis での治療中は妊娠を避けるよう注意が必要です。

最も頻度の高かった重篤な有害事象は、肺炎、急性腎不全、発熱およびうつ血性心不全でした。多発性骨髄腫患者の臨床試験でみられた最も頻度の高かった有害事象 (30%以上の発現率) は、倦怠感、貧血、悪心、血小板減少症、呼吸困難、下痢および発熱でした。重篤な有害事象は全患者の 45%で報告がありました。

添付文書の全文につきましては、<http://www.kyprolis.com> をご利用ください。

#### アムジェン社について

アムジェン社は重篤な疾患に苦しむ患者さんのために、革新的な医薬品を創製、開発、製造および販売することで、生物学の可能性を追求、応用することに邁進します。このアプローチは、最新の分子遺伝学などの知識で複雑な疾患を解明し、生物学の基本を理解することから始まります。

アムジェン社は、アンメットニーズが高い領域に焦点を当てつつ、生物製剤製造の専門的技術を通じて、健康上のアウトカムを改善して人々の生活を向上させるために努力します。アムジェン社は 1980 年よりバイオテクノロジーのパイオニアとして世界を牽引する独立したバイオテクノロジー企業の一つに成長を遂げました。アムジェン社の医薬品の治療を受けた患者さんの数は世界中で何百万人に及び、可能性のある薬剤のパイプラインを展開しています。

詳細は、ウェブサイト ([www.amgen.com](http://www.amgen.com)) およびツイッター ([www.twitter.com/amgen](https://www.twitter.com/amgen)) をご覧ください。

#### オニクス社について

オニクス社はカリフォルニア州南サンフランシスコにあるアムジェン社の子会社で、がん患者さんの病態を改善する革新的なバイオ医薬品の開発と販売に携わり、主要な分子経路を標的とする新薬の開発に焦点を当てています。オニクス社についての詳細は、[www.onyx.com](http://www.onyx.com) をご覧ください。ツイッターにも登録しています。オニクス社のツイッターフィード@OnyxPharm は、<http://twitter.com/OnyxPharm> よりサインアップ、フォローしてください。

## 将来予測に関する記述

本ニュースリリースは、アムジェン社およびその子会社（Amgen）の現在の予想および信念に基づいた将来予測に関する記述を含んでおり、記載された内容は複数のリスク、不確定要素および推定により、実際に生じる結果とは大きく異なる可能性があります。過去の記述を除くすべての記述を将来予測に関する記述とみなし、それには収益の見通し、営業利益率、資本的支出、現金、その他の収益、予想される法的調停、政治的、規制的または臨床的結果、または医療の実態、顧客および処方する医療従事者の動向または実情、治療費償還に関する活動とその結果およびその他の予想と結果を含みます。将来予測に関する記述は、重大なリスクおよび不確定要素を含み、以下で議論される記述および、より詳しくはアムジェン社が提出した証券取引委員会（SEC）報告書に記載の内容を含みます。SEC報告書には、アムジェン社の直近の通期報告書（Form 10-K）、以降の報告書を Form 10Q および Form 8-K に記載しています。アムジェン社の直近の Form 10-K、Form 10Q および Form 8-K にて、アムジェン社の事業に関する不確定要素およびリスク要因の詳細をご確認ください。他に記載がない限り、アムジェン社は2015年3月1日現在の情報を提供しており、本ニュースリリース記載の情報が更新された場合のいかなる義務も負いません。

将来予測に関する記述は一切保証されるものではなく、実際に生じる結果は、アムジェン社が計画しているものと大きく異なる可能性があります。新規の製品候補の創製および特定、または既存の薬剤の適応追加のための開発は保証されるものではなく、立案から製品への進展については不確実です。したがって、特定の製品候補または既存の薬剤の適応追加のための開発が成功し、製品となる保証はありません。さらに、非臨床試験の結果は、製品候補のヒトにおける安全かつ有効な作用を保証するものではありません。人体の複雑さはコンピューター、細胞培養システムまたは動物モデル等で完全に予測、説明できるものではありません。アムジェン社およびパートナーが臨床試験を完了し、規制上の製造販売承認を得るまでの期間の長さは過去に変化しており、同様に将来も変化するものと思われます。アムジェン社は製品候補を、社内、ライセンス契約、他社との共同開発およびジョイントベンチャーにより開発します。これらの関係により生じる製品候補は関係者間の争議の対象となることがあり、当該関係を締結する時点で予想ほど有効または安全ではない場合があります。また、アムジェン社またはパートナーは、製品販売後に、安全性、副作用または製造上の問題を特定する場合があります。アムジェン社の事業内容が、政府の調査、訴訟および製造物責任に関わるクレームにより影響を受ける場合もあります。アムジェン社が、アムジェン社と米国政府間で交わした企業の法令順守に関する協定におけるコンプライアンス準拠に抵触した場合は重大な制裁措置の対象となり得ます。アムジェン社は、特定の既存および将来の製品の原材料供給に関して生産の相当量を取引先に依存しており、供給が制限された場合は特定の既存製品の販売および製品候補の開発が制約される場合があります。

さらに、アムジェン社製品の販売（100%子会社の製品を含む）は、政府、個人保険プランおよびマネジドケアのプロバイダーを含む第三者の支払者に課せられた償還方針の影響を受け

ることがあります。また、医薬品の価格および償還に影響する米国の法規制のみならず、規制、臨床開発およびガイドラインの作成、および国内外のマネジドケアおよび医療コスト抑制策へのトレンドにも影響を受けます。政府および他の法規制、および償還方針はアムジェン社製品の開発、使用および価格に影響します。またアムジェン社は、新製品の創製および開発時と同様、販売中の自社製品について他社と競合します。アムジェン社は、新薬、薬剤候補または既存の製品の適応追加の承認時および販売開始時、およびそれらの過程で、競合に直面すると確信しています。アムジェン社製品は、より価格が安く償還の規定された、優れた効き目があり簡易に服薬できる製品、あるいはその他の理由でアムジェン社製品より優れた製品と競合する可能性があります。また、アムジェン社およびそのパートナーは、常に製品と技術の特許を取得していますが、特許取得および特許申請により生じる当社の製品の保護は、競合他社により侵害、無効化または回避される場合があります、自社製品または製品候補の特許を取得またはその保護を維持するアムジェン社およびそのパートナーの能力は保証されるものではありません。アムジェン社が商業的に成功する製品を生産または既存製品の商業的成功を維持できる保証はありません。アムジェン社の株式価格は、実際または想定される市場機会、他社との競争力、自社製品または製品候補の成功または失敗により影響を受けます。さらに、同クラス製品すべてに関連する、自社製品の類似製品についての重大な問題の発見は、当製品の売り上げ、業績および事業収益に実質的な悪影響を及ぼします。アムジェン社が獲得してきた会社経営統合の努力は、成功しない可能性があります。経費削減により、アムジェン社に減損またはその他の関連する資産に対する請求が課される場合があります。アムジェン社は財政困難、遅延または予期しない経費により、先日発表した再建案で想定された経費削減を達成できない場合があります。アムジェン社の事業成績により、アムジェン社の役員への配当、配当金を支払う能力、またはアムジェン社の通常株の再購入の発表またはその能力が影響を受けるかあるいはそれらが制限される場合があります。

当ニュースリリースに記載されたアムジェン社製品の新適応に関する科学的情報は予備的かつ検討的であり、米国食品医薬品局（FDA）によって承認された添付文書の一部ではありません。製品は本ニュースリリースに記載された開発用途のために承認されていないため、これら用途のための製品の安全性または有効性に関する結論が下されることはありません。

Velcade<sup>®</sup>は Millennium Pharmaceuticals, Inc.の登録商標です。

<sup>1</sup> Bray F, Ren JS, Masuyer E, Ferlay J. Estimates of global cancer prevalence for 27 sites in the adult population in 2008. *Int J Cancer*. 2013 Mar. 1;132(5):1133-45. doi: 10.1002/ijc.27711. Epub 2012 Jul 26.

<sup>2</sup> Ferlay J, et al. GLOBOCAN 2012 v1.0, Cancer Incidence and Mortality Worldwide: IARC CancerBase No. 11 [Internet]. Lyon, France: International Agency for Research on Cancer; 2013. Available from: <http://globocan.iarc.fr>, accessed on 15/January/2015.

<sup>3</sup> National Cancer Institute. SEER Stat Fact Sheets: Myeloma. <http://seer.cancer.gov/statfacts/html/mulmy.html>